

越谷リバーウォーク ガイドブック II

【越谷しらこばと基金助成金事業】

## Koshigaya River Walk Guidebook II 「こしがや橋物語」

—企画・編集—  
越谷リバーウォーク ガイドブック 編集委員会

# こしがや橋物語

市内に五二七本

歴史のある橋

想い出のある橋

未来へ続く橋

美しい橋

特別な橋

身近な橋

暮らしつなぐ

人が出会い集う

ひとつひとつに

橋物語



大徳幸雄氏による水彩画『越谷百景』より 元荒川と旧市庁舎

## 「こしがや橋物語」はじめに

“水郷こしがや”と呼ばれる越谷市は多くの川が流れていますので、橋の数もたくさんあります。市が管理する橋は458ヶ所ですが、名もなく番号で呼ばれている橋や暗渠になっている橋も多く、市民に呼ばれる名称のある橋は約100ヶ所程度です。この他、埼玉県が管理する橋が56ヶ所、国が管理する橋が13ヶ所と、実に多くの橋があるまちです。

橋はまちづくりにおいて重要な施設です。本市は首都圏住宅都市として発展してきましたが、その過程で利便性を求めて多くの橋が建設されました。しかし、人口減少により都市が収縮する時代を迎えて、このような多くの橋の維持管理は大きな課題を抱えています。持続可能なまちづくりの観点で、今後の橋のあり方についても考えていく必要があります。

さて、2022年にスタートした「越谷リバーウォークプロジェクト」は川辺の緑道を散策して“水郷こしがや”的魅力を探し、わがまちへの愛着を育てようというものです。川辺を歩くときに目標になるのが橋です。このガイドブックは、越谷市の河川・水路に架かる主な橋を抜粋し、その橋にまつわる物語やエピソードをまとめたものです。また巻末には、市内527本のうち水路に架かる長さ15m以上の橋の一覧表を載せてあります。2022年発行したガイドブックと併せて活用し、リバーウォークをより楽しんでいただければ幸いです。

なお、このガイドブックは越谷市の広報や出版物、川のあるまちやNPO法人越谷市郷土研究会の出版物・記事を基に、一部引用を含めて編集されています。関係各位に御礼を申し上げます。

論文ではありませんので、記事内容が伝聞や通説であったり、最新の研究によれば事実と異なるという箇所もあるかもしれません、お許しください。

【越谷リバーウォーク ガイドブック】編集委員会  
委員長 若色 欣爾

越谷しらこばと基金助成金事業

主 催……NPO法人越谷市住まい・まちづくりセンター

NPO法人越谷市郷土研究会

越谷市住まい・まちづくり協議会

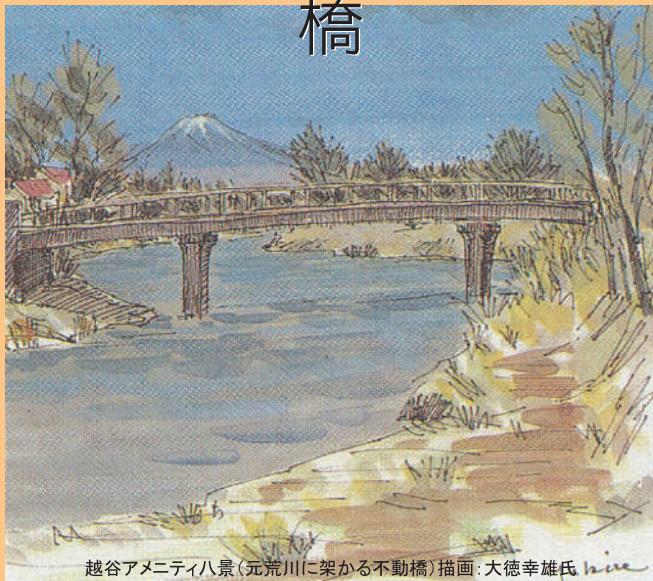
協 賛……ボラスグループ株式会社中央住宅

後 援……越谷市、越谷市教育委員会、越谷商工会議所、越谷市観光協会

越谷市市民活動支援センター

企画運営……越谷リバーウォークプロジェクト実行委員会

# 物語のある橋



越谷アメニティ八景(元荒川に架かる不動橋)描画: 大徳幸雄氏

越谷市は、昔から“水郷こしがや”と呼ばれ、東端に大落古利根川と中川、南西端に綾瀬川、中央には元荒川が流れるほか、新方川や葛西用水などの河川・農業用水が縦横に流れています。このため、生活に欠かせないものとして、多くの橋が架けられてきました。歴史ある橋から近代的デザインを施した橋まで、川辺を散策しながら眺めてみるのも楽しいものです。その中から歴史的に古く、謂われがある橋をご紹します。

## CONTENTS

### 物語のある橋

- 05 物語のある橋 11選
- 19 個性のある橋 11選
- 23 もうひとつの橋「暗橋」
- 25 橋にまつわるエトセトラ(ミニミニ辞典)

### こしがやの橋ガイドマップ

- 29 主な橋(71選)の説明地図
  - ・コラム「越谷の渡し場」
  - ・コラム「橋を下から見ると」
  - ・こしがや橋物語クイズ

### まちづくりの視点から

- 43 橋の維持管理について
- 45 橋から考えるまちづくり

### 巻末資料集

- 49 越谷市に架かる主な橋の位置図
- 51 越谷市に架かる橋一覧表(橋長15m以上)

## 宮野橋（新方川） ⑯



宮野橋

## 定使野橋（新方川） ⑯

新方川は春日部市増田新田とさいたま市岩槻区大戸の境界を起点とし越谷市中島にて中川に合流する総延長十・九キロメートルの一級河川であり、越谷市の北東部を貫流しています。古くは「千間堀」と呼ばれ、大正五年に「新方領堀」となり、現在の名前「新方川」になつたのは昭和四十年です。今でも流域の地元では「千間堀」の名前で親しまれています。

新方川は中川低地を流れり合流する川や排水路が非常に多く、現在でも度々流域の湛水被害があります。昭和五十七年と六十一年には国の河川激甚災害対策特別緊急事業に指定され川幅

の拡幅や調節池の建設、新たな橋の架け替え事業が行われました。大吉には新方川の水量をコントロールすることを目的とする洪水調節池も設けられています。

昭和六十年に河川激甚災害対策特別緊急事業により、架け替えた橋の一つに「宮野橋」(ミヤノバン)があります。この「宮野橋」は古くは「定使野橋」と呼ばれていました。

このあたり一帯はかつて増林野橋と呼ばれていました。

このあたり一帯はかつて増林野橋と呼ばれていました。

越谷市郷土研究会の加藤幸一氏の調査によると、かつて宮野橋から増林の野」を結ぶ橋として両方の地名から一字づつ取り、「宮野橋」となつたと地元では伝わっています。

越谷市郷土研究会の加藤幸一氏の調査によると、かつて宮野橋から増林の野」を結ぶ橋として両方の地名から一字づつ取り、「宮野橋」となつたと地元では伝わっています。

年奉納していました。

「宮田」と呼ばれる地名は「宮道」に由来し「宮」とは「浅間神社」を指すものと思われます。「宮の道」も花田地区の区画整理以前は宮野橋の西側約二百メートル先で古い街道である野田街道(県道越谷野田線)から鋭角に分岐しており、大沢方面から人と物を浅間神社へ導くために造られた道と推測できます。

道が続いていました。

そして「浅間神社」と「宮田」との間には何らかの関係が推測され、事実、かつては神社を維持する費用として宮田からあがる収穫物の米や野菜を浅間神社の祭祀に毎年奉納していました。

道が続いていました。

※橋名に振られた番号により、卷末の地図(橋の位置)・一覧表(各橋のデータ)と対照できます。



越谷市郷土研究会の加藤幸一氏の調査によると、かつて宮野橋から増林の野」を結ぶ橋として両方の地名から一字づつ取り、「宮野橋」となつたと地元では伝わっています。

越谷市郷土研究会の加藤幸一氏の調査によると、かつて宮野橋から増林の野」を結ぶ橋として両方の地名から一字づつ取り、「宮野橋」となつたと地元では伝わっています。

年奉納していました。

「宮田」と呼ばれる地名は「宮道」に由来し「宮」とは「浅間神社」を指すものと思われます。「宮の道」も花田地区の区画整理以前は宮野橋の西側約二百メートル先で古い街道である野田街道(県道越谷野田線)から鋭角に分岐しており、大沢方面から人と物を浅間神社へ導くために造られた道と推測できます。

道が続いていました。

かつては千間堀は葛西用水(逆川)の下を樋管により伏せ越して下流に向かっていましたが、昭和五十七年の河水川激甚災害対策特別緊急事業と同時に行われた花田土地区画整理事業により昭和六十年に潜る上下を逆転させた際に初めて掛けられた橋です。(橋の完成は昭和六十二年)

よつて今のような橋は存在しておらず、地元でも橋として認識されていなかつたようですが、昭和元年に定使野にて生まれた女性(現在幸手市にて「健在」や地元の高齢の方に聞いてみても、ここに橋があつたと認識していた人はいませんでした。

秀明氏の近世後期の絵図の調査により「葛西用水(逆川)」を伏せ越した旧大吉村と旧増山村の境界より上流部を「上千間堀」、下流部を「下千間堀」と呼んでいたことが判明しました。

下千間堀の増林地区の流路に関しては、【越谷リバーウォークガイドブック】誌上ミニ講座①「こしがやの川」に掲載されています。

秦野氏は「定使野地区(定使野橋から宮野橋の区間)の流路変遷についても述べておらず、明治十三年の迅速測図の測量時には葛西用水(逆川)を伏せ越した後、直線的に南下する現在の流路ではなく、東側に回り込み、前述した「宮の道」に沿いながら南下、現在の宮野橋付近に至る流路であつたと述べています。

(当時の花田土地から始まったという話も伝わっています。) (当時の花田土地から始まったという話も伝わっています。)

現在の「定使野橋」の名前の由来は、一説には昭和六十年に現在の場所に橋を造る際に、当時の越谷市長の島村慎市郎氏の地元の地名を後世に残そうとの発案から始まったという話も伝わっています。(当時の花田土地から始まったという話も伝わっています。)

越谷市郷土研究会の秦野区画整理審議委員談)

から前波(現在の新大吉橋近辺)まで現在のような起伏はなく、定使野の土地の高さの状態のまま松伏方面に至っていました。葛西用水(逆川)も古利根川から分岐した後、前波の水神社近辺から現在の定使野公園の辺りまで野田街道と完全に並行して流れおり、新方川はその下を樋管で伏せ越していました。

現在の「定使野橋」の名前の由来は、一説には昭和六十年に現在の場所に橋を造る際に、当時の越谷市長の島村慎市郎氏の地元の地名を後世に残そうとの発案から始まったという話も伝わっています。(当時の花田土地から始まったという話も伝わっています。)

秦野氏は「定使野地区(定使野橋から宮野橋の区間)の流路変遷についても述べておらず、明治十三年の迅速測図の測量時には葛西用水(逆川)を伏せ越した後、直線的に南下する現在の流路ではなく、東側に回り込み、前述した「宮の道」に沿いながら南下、現在の宮野橋付近に至る流路であつたと述べています。

今は古道にその名残はあるものの、河道は埋め立てられており、当時を偲ばせるものは残っていません。以前この地にあった「梅光院」という寺院の勢力が強く、その意向により河道をまっすぐ直道化したとの言い伝えがあります。



戦前



昭和50年代



**念佛橋（新方川）⑧**

越谷市の北部桜井地区の大泊に安国寺という浄土宗の古刹があり、門前には念佛橋通りが南北に通っています。念佛橋通りは、上間久里にて元荒川の旧流（袋山古川、かつての利根川の本流）の左岸に形成された自然堤防上を通る日光道中を離れ大泊方面へ向かっており、現在は日光道中から分岐した道に見えますが、近世に日光道中が江戸幕府により五街道として整備される以前の奥州古道です。（越谷市郷土研究会 加藤幸一氏の調査により）安国寺は古くは法力房蓮生（熊谷次郎直実）の草庵であったと伝わっています。

その後、室町時代に誠誉専故和尚がこの地に寺を再建。故郷紀伊国熊野大泊村の地



架け替え前の念佛橋



現在の念佛橋

名をこの地の地名にし、当寺を安国寺と称したと伝わっています。

上間久里から安国寺に至る念佛橋通りが新方川を渡る場所に架かっているのが「念佛橋」ですが、「念佛橋」と呼ばれる所以は諸説あります。

①安国寺第二十五代住職宏善上人が浄土宗大本山増上院にお通いになる際、念佛橋に差し掛かった時に、車夫がこの橋は河童が出るとか、橋から落ちた人がいるとかで怖がったのを見て、宏善上人がお念仏をあげながら渡ると、車夫の車が軽くなり通りやすくなつた。以後、橋を渡る

ときはいつもお念仏を唱えながら渡つたので「念佛橋」と言われるようになった。

②新方川が千間堀と呼ばれる川幅が今ほど大きくななく、人がやつと通れるような小さな丸木橋だったころ、地元の人は怖くて、恐る恐る念佛を唱えながら渡つており、

安国寺の住職も必ず念仏を唱えて渡っていたので「念佛橋」と呼ばれるようになった。

③安国寺の住職が橋を渡る

うとしたら橋から落ちて亡くなつた人の靈が、住職の袈裟の袖を引いたので、住職が成仏できずに彷徨つている靈が成仏できるようにこの橋を渡るときは必ず念佛を唱えながら渡つた。

④法然上人の熱心な信徒である法力坊蓮生（熊谷次郎直実）が西方浄土に背を向けてはならないと、東国に下る際は西に正面を向いて馬に後ろ向きに乗り、この橋も念佛を唱えながら渡つた。

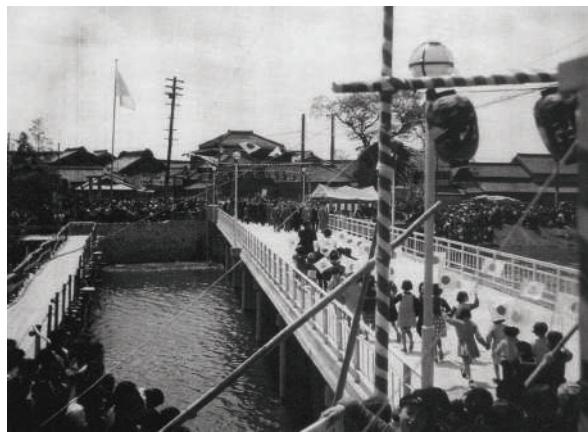
地元には由来は幾つも伝わっていますが、何れも安国寺やその前身の法力坊蓮生の草庵がかかわっており、このお寺が古くからこの地域に根差し親しみを持たれていた事が推測できます。

（宮野橋、定使野橋、念佛橋の項執筆／瀧田 雅之）



昭和10年頃

## 大沢橋（元荒川） ③



大沢橋渡り初め式 昭和28年(1953)5月  
大沢方面から越ヶ谷町を望む。子ども達が日の丸を振って完成した橋を渡る。  
左側に火の見やぐと半鐘が見え、市神神明社の鳥居がある。

※出典：埼玉県文書館収蔵 埼玉新聞撮影 戦後報道写真(S280533-1-2)



現在の大沢橋



太平洋戦争中には、国策として金属供出が各地で行われ、大沢橋も欄干が金属であつたため全て取り外され、むき出しになりました。間もなく木枠の簡単な欄干が付けられます。が、通行する車

永年間(一七七二)～一七八〇)以前は幅が四間(七・二七メートル)とあり、ほぼ現在の車道と歩道をあわせた広さであったようです。

明暦元年(一六五五)に開東代官伊奈半左衛門忠克により掛け替え工事が施工されたとの記録が残されており、このため最初の橋の架橋年代はかなり古いものと思われます。

古代から中世にかけて元荒川は、越ヶ谷側が武藏国埼玉郡、大沢側が下総国新

り川に落ちそつになつた」と

があるようです。

現在の「大沢橋」は昭和二十八年(一九五三)に完成し、長さ五十四・八メートル、幅員七・七メートルです。

昭和四十年代に入ると越谷市の交通量は格段に増え

て、旧国道の大沢橋もその影

響を受け一日あたり五千台の車が通過していました。

大型トラックがすれ違う時には歩行者が渡る余地がなく危険に身をさらすことになりました。越谷市では昭和四十二年(一九六七)十月に

橋に平行して横幅二・二五メートルの歩道橋を完成させ現在のようになりました。

※出典 NPO法人越谷市郷土研究会 原田民自氏 平成二十年度しがや文化芸術祭発表資料

方と二つの国の境界であり、大沢側は戦国時代に下総国から武藏国に改められたと推定されていますが、一名「新武

藏」のうちの大沢村と呼ばれたようです。

江戸時代、日光道中は仙台藩・会津藩・秋田藩・盛岡藩・米沢藩・庄内藩等四十余の藩主の参勤交代の通り道であつたため、この大沢橋も多くのお殿様が渡されました。



奥州道中増補行程記 宝暦元年(1751)

フランスの富豪エミールギメは日光旅行の途中、越谷の餽食屋(うどん屋)で昼食をとる。同行したレガメはここで4点の挿絵を描いた。これは、大沢橋のたもとにあった稻荷社の階段に腰を据えて、人力車夫の米を研ぐ餽食屋の女中。橋の向こう側に市神神明社の鳥居が見え、橋下には船が浮かぶ。



やかに描いたもので、道中界隈の風景が絵図と文章で克明に記録され、「大沢橋」も周囲の景観と共に描かれています。

## 宮前橋(元荒川) ⑩

江戸時代以前、荒川は現在の元荒川筋を流れていますが、寛永六年(一六二九)に和田吉野川に付け替えられ、入間川筋を本流とする流れに変わりました。この流れにより荒川は「元荒川」と称されました。

元荒川の上流や中流ではところどころに堰が設けら

れたため下流に流される水量は激減し、元荒川を水源とした瓦曾根溜井には水が入らず、用水に差し支えるようになりました。



江戸初期の元荒川改修後の中島用水水路

間(約三・一キロメートル)の新水路に流されました。この用水路は「鷺後用水路」と称され、水元の水門が閉鎖される用水不用の季節には元荒川がこの水路をつたて逆流したので、通称「逆川」と呼ばれました。

最初の橋は木橋でしたが、昭和四十五年三月に現在の橋に架け替えられました。完成時には待ちわびた住民たちが渡り初めを行った写



最初の橋の渡り初め式(昭和31年) ※出典:越谷市ホームページ

「堂面橋」(ドゥメンバシ)は、向畠地内の養護老人ホーム順正苑先で松伏町と結ぶ古利根川に架かる橋です。付近は古利根川の豊かな水郷風景が広がります。

替えられ、現在は長さ七十メートル、幅六メートルの、歩行者・自転車専用の橋となっています。

真があります。

橋が架かる前は舟で川を渡っていました。下の写真に写っている鈴木すばさんは「堂面の渡し」六代目の船頭さんです。昭和十年前後はハイキングコースになつておおり、名所として知られていました。また昭和二十年代にはカレンダーの写真にも掲載されました。

※出典 越谷市史一、葛西用水史通史、越谷市制施行五十周年記念誌  
広報こしがやお知らせ版 平成三十年(二〇一八)七月号

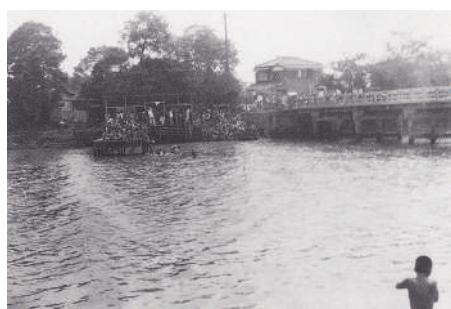
## 堂面橋(大落古利根川)③



現在の堂面橋

この水量不足を補うため開発された「中島用水」は松伏堰でせき止められ、松伏領や新方領の用水にも用いられましたが、多くは大吉村から大沢の地蔵橋地先の、元荒川に至る長さ一七六〇メートルの新水路に流水されました。この用水路は「鷺後用水路」と称され、水元の水門が閉鎖される用水不用の季節には元荒川がこの水路をつたて逆流したので、通称「逆川」と呼ばれました。

元荒川は大沢地蔵橋から天狗の鼻状に花田村を迂回し、小林村東福寺前から瓦曾根溜井に通じていました。この流路はその元にあたる越ヶ谷天嶽寺前から小林村東福寺にかけ、直流の新川が開削されました。これは中島用水が開発された治水対策に伴つて施工された一連の工事と見られます。

多くの子どもたちでぎわう水練場(昭和32年頃)  
※出典:越谷市制施行40周年記念誌

天嶽寺前の「寺橋」付近は流れも穏やかで、昭和三十五年までは子どもたちの水練場となり、子どもたちが元気に泳ぐ姿が夏の風物詩となっていました。その後、寺橋は取り壊され、昭和三十四年に「宮前橋」(ミヤマエバシ)が完成。さらに平成十五年に架け



現在の宮前橋から天嶽寺方面を望む

## 平和橋(葛西用水)

## 新平和橋(元荒川)

⑥②

元荒川に架かる「新平和橋」(シンヘイワブashi)と葛西用水に架けられている「平和橋」(エイワブashi)は、つながっていて一つの橋のように見えますが、別々の橋です。昭和三十五年から始まつた元荒川と葛西用水の用排水分離工事により、現在より少し下流に架かつていた旧平和橋の架け替えとして建設されました。

旧平和橋は、古くは江戸時代より「瓦曾根橋」と呼ばれる木橋が架かつており、鳥文斎細田栄之の『瓦曾根溜井図』に江戸時代当時の瓦曾根が描かれています。木製の橋は、太平洋戦争が始まる前年の昭和十五年九月に橋桁が腐つて陥没してしまいました。

しかし、この橋は昭和四十一年十一月二十三日に崩落してしまい、現在の場所に架け替えられます。昭和四十一年の秋に着工、昭和四十二年の春に完成しました。それに先駆け、元荒川にかかる新平和橋の方は昭和四十年に着工し、昭和四一年三月に完成。葛西用水に架かる「平和橋」に対して元荒川に架かる新たな平和橋と名付けられ、現在のように二つの橋が繋がつて架けられました。

平和橋は長さ二五・五五メートル、新平和橋は長さ六九・六八メートル、幅はどちらも一三・五メートルです。

この平和橋と新平和橋は昭和三十四年に計画決定された都市計画道路「3・4・

まいりました。

昭和二十四年、戦後になつてようやく欄干のない木製の橋「瓦曾根橋」が再建されます。戦後、平和な時代になり新しく橋もできたので、市民はみな喜び、橋の名も「平和橋」と改称したそうです。木橋の橋桁は丸太で、人やリヤカーが渡りやすいように土舗装が施されており、地元では泥橋(どろばし)と呼ばれていたようです。長さ

は三十メートル。幅は二メートルぐらいで、オート三輪車が通れたようです。それ以上の大形車両は通行できず、今まで橋の少ない時代でしたので、この「平和橋」は農作物を越谷や東京方面の市場に運ぶために重宝だったようです。



欄干が付いた旧平和橋(昭和34年12月)写真提供:高橋努氏

雪が降る旧平和橋(昭和30年代)  
※出典:越谷市制施行40周年記念誌崩落した旧平和橋(昭和41年)  
※出典:越谷市制施行40周年記念誌前年に完成した新平和橋(奥)に続き完成した平和橋(昭和42年)  
※出典:越谷市制施行40周年記念誌

現在の平和橋と新平和橋(令和5年撮影)

まだ道路がない時期に造られた新平和橋  
※出典:越谷市デジタルアーカイブ(新平和橋)

18越谷駅前線」の重要な橋であり先行して架けられました。

上部右の写真が最初に造られた新平和橋で、まだ道路もない状況で、その先には東小村ののどかな風景が広がっています。

その後、土地区画整理事業により東越谷の街が生まれました。さらに土地区画整理事業は花田地区へ拡がり、この一帯は本市における代表的な住宅地区となりました。

※出典 NPO法人越谷市郷土研究会 高崎力氏 平成二十年年度こしがや文化芸術祭発表資料、市制施行四十周年記念誌「じきを超えて」







### ③千代田橋 (No. 21)

新方川の河川改修に伴い架け替えられました。越谷総合公園や市立総合体育館、越谷市民球場など周辺施設との一体化を図るために、高欄には、野球・サッカー・テニス新体操のレリーフがあります。越谷駅からこの橋に続く越谷駅前線は、本市の中心的な都市軸として、シンボル的な道路になっており、古利根川のふれあい橋まで繋がっています。

■1993年架設 ■橋長52.50m 幅員20.80m



### ④神明橋 (No. 31)

県内で唯一のポニートラス橋。トラス橋とは、鉄骨で組んで橋を支える構造で、鉄道の橋に多く見られます。山地に多く、平野部で架けられるの大変珍しいことです。平成4年には、歩道が増設されました。高欄には、元荒川の桜堤にちなんで、桜の花がデザインされています。

■1970年架設 ■橋長60.3m 幅員10.3m



### ⑤不動橋 (No. 38)

近くにある大相模不動尊(大聖寺)から名をとった橋です。昭和2年、大相模中学校と増林中学校を統合した東中学校の設置に伴う新道の造成とともに架けられました。現在の橋は、元荒川総合治水対策事業の河川改修にあわせて、取り付け道路を含めた420mを拡幅改良し、架け替えられました。両側には3.5mの歩道とベンチが設けられ、寺院をイメージした親柱とケヤキがデザインされた高欄が特徴です。

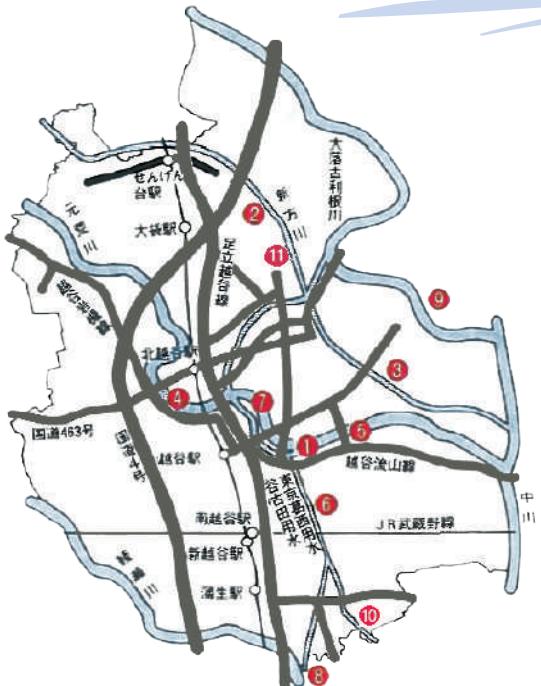
■1994年架設 ■橋長134.00m 幅員16.00m



### ⑥流通団地橋 (No. 63)

東京葛西用水と谷古田用水に架かる橋。用水が流れる部分が眼鏡のように見える眼鏡橋です。レンガ張りのモダンな橋は、コンクリート製品(アーチ型ボックスカルバート)を組み合わせて造りました。高欄には、魚がデザインされ、訪れる太公望の目を引いています。

■1988年架設 ■橋長15.88m 幅員24.80m



橋は、永く耐えられる堅牢性とともに、デザインにも工夫が凝らされています。その中で、個性ある橋を紹介します。

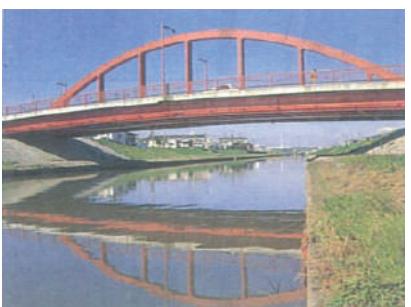
市内を流れる大落古利根川、新方川、元荒川、中川、綾瀬川などの一級河川と、葛西用水などいくつもの用水。これらの流れによつてまちが分断されないよう多くの橋が架けられています。



### ①しらこばと橋 (No. 37)

県道越谷八潮線の元荒川と葛西用水に架かる橋。白い大きな主塔から斜めに張ったケーブルで橋を支える市内初の斜長橋です。その姿は、翼を広げて寄り添い、大空に向かって飛び立つ2羽のシラコバトをモチーフにしています。朝の散歩コースに加わったり、夜間はライトアップされ、越谷を代表する景観のひとつとなっています。

■1994年架設 ■橋長145.1m 幅員12~14.2m



### ②大杉橋 (No. 12)

昭和61年の台風10号による水害で、新方川が河川激甚災害対策特別緊急事業(激特事業)として河川改修され、その一環として架け替えられました。中央のアーチで支える単弦ローゼ橋という構造で、高欄には、コスモスがデザインされています。向畠橋、新栄橋と合わせて「61激特3橋」といわれています。

■1990年架設 ■橋長48.20m 幅員15.20m

※各橋名の後に付した番号により、巻末の地図(橋の位置)・一覧表(各橋のデータ)と対照できます。

**⑩一木橋(いちきばし)**

老朽化により架け替えられた橋で、伊原と川柳町を結んでいます。添架物(橋といっしょに架けられる水道管など)を橋の側面に配置しているため、景観に配慮して桟カバーが設置されています。

■1994年架設

■橋長14.10m 幅員12.19m

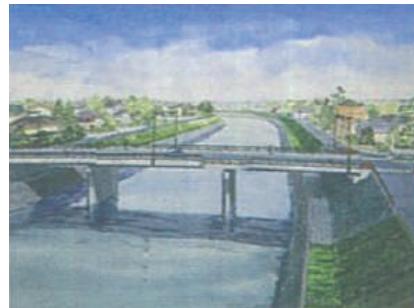
**⑪廣橋(No. 9)**

大泊と上間久里を結び、橋を上から見ると砂時計のような珍しい形をしています。橋の線形が曲がっているうえ、橋の両わきが交差点になっていることから、見通しをよくするために橋の幅が徐々に広くなっています。老朽化および新方川の河川改修とともに現在の位置に架け替えられました。

■1996年架設 ■橋長45.30m 幅員12.80m



※出典 広報こしがや平成7年(1995)1月1日号、広報こしがや季刊版平成15年冬号  
市制施行40年の足跡「ときを超えて」平成10年11月発行

**⑦新宮前橋(No. 35)**

昭和38年に架けられた宮前橋は、元荒川の東西間の交通の要衝として重要な役割を果たしていましたが、老朽化が進み、幅員も狭いことから新宮前橋が新設されました。この橋は、宮前橋の下流、柳町と東越谷五丁目にまたがり、久伊豆通りと青葉通り(都市計画道路・神明下花田線)を結ぶものです。灯ろう型の照明灯を取り付け、高欄には藤の花をかたどるなど歴史的景観に配慮したデザインとなっています。

■1997年架設 ■橋長63.90m 幅員16.80m

**⑧蒲生大橋(No. 50)**

日光道中の旧道、綾瀬川の改修に伴い架け替えられた橋です。近くには県指定史跡として蒲生一里塚があります。橋の下流にある藤助河岸跡は、明治後期から大正期にかけ、鉄道の普及などで廃止されていく河岸場の中で、なお繁盛を極めた綾瀬川舟運では唯一の河岸場でした。高欄には、俳人・高浜虚子の句などのレリーフがあります。

■1993年架設 ■橋長69.40m 幅員12.01m

**⑨ふれあい橋(No. 5)**

都市計画道路・松伏越谷線の整備に合わせて大落古利根川に架けられました。越谷駅から駅前線を通り松伏町のニュータウンである「ゆめみ野」や音楽ホール「エローラ」が直接結ばれ、まさに越谷と松伏町の新しいかけ橋となりました。ふれあい橋の名称は公募で決まりました。

この橋が架かる場所の右岸上流には2005年に越谷市斎場がPFI事業方式で建設され、越谷市、吉川市、松伏町の広域斎場となっています。また、地域住民に配慮し、周辺に増林公園が整備されています。

■1997年架設 ■橋長104.70m 幅員16.80m



### ● 橋の歴史

橋は、何らかの障害物を越えて、道路や鉄道、水路などを通す構築物です。橋が越える障害には、河川、湖沼、海峡、湾、運河、低地などのほか、他の交通路や他の構造物など、さまざまなものがあります。

橋の歴史は古く、紀元前四千年頃のメソポタミア文明では石造のアーチ橋が架けられていたそうです。わが国でも日本の神話に出てくる最初の橋は「天の浮き橋」で、日本列島を作る際に、この橋を通して、天の神々が自由に天と地の間を行き来しましたと伝えられています。

日本で最も古い橋は、福岡県大牟田市の三池地区にある「御木のさ小橋(みけのさをばし)」という倒木を利用

した橋だそうです。現存する最古の橋は、長崎県の中島川に架かる「くるがね橋」です。一八六八年(慶應四年)に建設された鉄橋で、現在も使用されています。

越谷で一番古くに架けられた橋は大沢橋だと考えられますが、現存する最古の橋は

した橋だそうです。現存する最古の橋は、長崎県の中島川に架かる「くるがね橋」です。一八六八年(慶應四年)に建設された鉄橋で、現在も使用されています。

### ● 橋の起源と現代の橋梁建設のあらまし

最初の形態としては、「桁橋」の源流を打ち立てました。この三種の方式が橋の基本的なタイプとなり、後に産業革命により飛躍的な発展をとげ、銅鉄や石材の複合構造やコンクリート橋が出現し近代の橋梁となりました。



大徳幸雄氏による水彩画『越谷百景』より 古い橋(元荒川〆切橋)

元荒川の〆切り橋で、一九三七年(昭和十二年)に架設されました。八十五年以上が経過し老朽化が激しく、車両通行止めになっています。

橋」と「吊り橋」が石器時代には架けられた歴史があり、丸太等を渡したもので、他に、手に入り易く加工がしやすい木材、つた類、竹材等も使われたましたが耐久性はありませんでした。以来、本格的な橋を土木技術により建造したのはローマ人で、強度を重視して石を使い「アーチ橋」の源流を打ち立てました。

この三種の方式が橋の基本的なタイプとなり、後に産業革命により飛躍的な発展をとげ、銅鉄や石材の複合構造やコンクリート橋が出現し近代の橋梁となりました。現代では、斜張橋といわれる複合橋が採用され、構造力的にも優れ、デザインも各種の型が建設されるに至っています。

### ● 橋の定義と分類

橋についての明確な定義はありませんが、わが国では一応長さ二メートル以上のものを橋とみなしています。橋の種類と一口にいつても、用途や材料、構造などによってさまざまな分類法があります。

用途による分類としては

①道路橋：道路(路面電車を含む)に架ける

②鉄道橋：鉄道線路用に架ける

③水路橋：水道・水力発電用の水路に架ける

④高架橋：陸上に架ける

⑤歩道橋：人の通行のために架ける

⑥併用橋：複数の用途のために架ける

一ブル型の旋回橋(軍用)などの特殊な橋もあります。また、橋の材料によっては木橋、石橋、鋼橋、鉄筋コンクリート橋、合成橋などがあげられます。

### ● 橋の構造と形式

橋の基本的な構造と名称を図1に示します。橋は道路を構成する重要なインフラ

を図2に示します。さ

らには、まちの景観を形成し、まちの価値を高め、ときにはランドマークとなるインフラです、

図2には、橋の形式を示しています。桁橋、トラス橋、アーチ橋、ラーメン橋、アーチ橋、斜張橋

など、多くの橋の構造と名前を示しています。

越谷には桁橋が多いの

ですが、しっかりと橋の

斜張橋、神明橋のトラス橋、大杉橋のアーチ橋

が見られます。

この他に、可動橋、通称跳ね上げ式の跳開橋、エレベーター式の昇開橋や、ターンテ

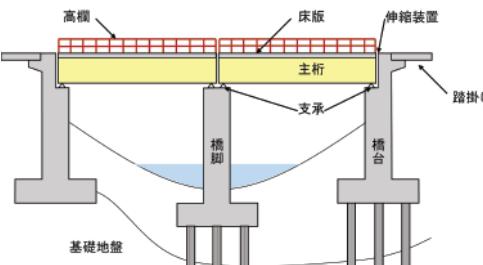


図1 橋の基本構造とその名称(作画・執筆:恒國光義)

図1の元図:出典元は株式会社建設図書出版の『初心者のための橋梁点検講座 橋の点検に行こう!』P8 図-1.3 橋の基本構造とその名称です。

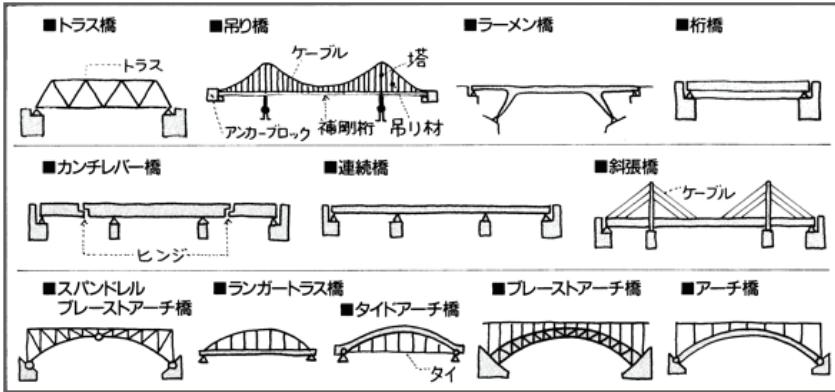


図2 橋の形式の分類

● 現代の橋の基礎工事

河川に関する橋の工事は、増水期の作業が危険なため、渴水期に断続的に進めるのが通常で、特に基礎工事は水の最も少ない時期に行います。基礎工法には、普通、直接基礎工法、杭基礎工法、ケーソン工法等があります。しらこばと橋の基礎打込工法は、鋼管杭を中掘工法(無振動・無騒音)により打設して完成しました。

● 橋のデザイン

橋の美しさは、橋 자체の機能美が中心ですが、環境との景観が総合的にマッチしなければならないという点が重要で、遠景では周囲との調和。中景では橋全体の造形美が大切になります。近景に関しては橋のディテール、

材質感、色彩、装飾等がボイントとなり、他の要素として照明計画機器も欠かすことのできないデザイン評価の決め手となります。

※出典 「道と路がわかる事典」  
日本実業出版社 浅井建爾著  
および川のあるまち越谷文化  
第十三号(戸井田氏記載)を  
基に編集させて頂きました。



大徳幸雄氏による水彩画『越谷百景』より せんげん堀にかかる石橋

● 書籍紹介



藤沢周平の『橋ものがたり』

(中略)この小説集は橋にまつわる十の短篇を集めたものですが、まずこの着眼に唸らされました。江戸期の橋は、現在の省線の駅のようなもの、人びとは橋を目あてに集まり、待ち合せ、そして散らばり去ります。人びとの離合集散が多いということは、それだけ紡ぎ出される「物語」の数も多いわけで、作者はこの橋の役割を充分に承知した上で、物語作者としての腕を縦横にふるっています。(井上ひさし氏の解説より)

# こしがやの橋 GUIDE MAP

## ~主な橋(71選)の説明地図~

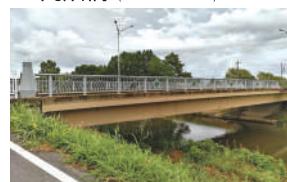
- ①大落古利根川に架かる橋 ..... 1~5
- ②新方川に架かる橋 ..... 6~25
- ③元荒川に架かる橋 ..... 26~40
- ④中川に架かる橋 ..... 41~43
- ⑤綾瀬川・新川・出羽堀に架かる橋 ..... 44~50・70~71
- ⑥レイクタウン(大相模調節池)に架かる橋 ..... 51~56
- ⑦葛西用水に架かる橋 ..... 57~62
- ⑧東京葛西用水・谷古田用水・八条用水に架かる橋 ..... 63~69

## 新方川に架かる橋



## 大落吉利根川に架かる橋

13 向畠橋 (ムコウハタバシ)



弥栄小南側に架かる橋で新川改修に伴い新橋が建設。  
平成3年(1991)架設  
橋長45.60m 幅員12.80m

14 新栄橋 (シンエイバシ)



新栄中北側に架かる橋。川の左岸は、コスモスなど四季の花が楽しめる。  
平成2年(1990)架設  
橋長45.60m 幅員12.80m

15 白鷺橋 (シラサギバシ)



新たな県道越谷野田線の橋。平成2年に越谷市が架設して令和4年県に移管された。  
平成2年(1990)架設  
橋長49.0m 幅員23.8m

17 宮野橋 (ミヤノバシ)



新方川の改修事業に伴い架けられた。橋の近辺はスーパー堤防のような構造となっている。  
(5ページ参照)  
昭和59年(1984)架設  
橋長50.70m 幅員7.70m

18 鷹匠橋 (タカジョウバシ)



新方川の改修事業に伴い架けられた。江戸時代は土橋で、將軍家鷹匠が鷹場野巡回・榎本家に行くときたことでこの名が付いたといわれる(諸説あり)。  
昭和59年(1984)架設  
橋長51.00m 幅員14.80m

19 城之上橋 (シロノウエバシ)



新方川の改修事業に伴い架けられた。ピルツ橋という珍しい構造の橋。城の上はこの付近の旧字名で、江戸時代、徳川家康が鷹狩りの休憩所として各地に作らせた御茶屋御殿があったことから付いたもの(諸説あり)。  
昭和62年(1987)架設  
橋長51.00m 幅員10.80m

20 東 橋 (アズマバシ)



越谷駅前から増林へ向かうと、ここで新方川を越える。  
昭和45年(1970)架設  
橋長49.32m 幅員7.10m

21 千代田橋 (チヨダバシ)



新たな越谷駅前線に架かる橋。これを越えると総合体育館と総合公園がある。(20ページ参照)  
平成5年(1993)架設  
橋長52.50m 幅員20.80m

22 増森橋 (マシモリバシ)



東部清掃組合第一工場脇に架かる橋。  
昭和54年(1979)架設  
橋長51.88m 幅員7.70m



23 新田橋 (シンデンバシ)



橋の両岸が旧・増森村小名(こな)新田組の地域に架かる橋。  
昭和55年(1980)架設  
橋長56.20m 幅員5.54m

24 新ましもり橋 (シンマシモリバシ)



国道4号線東埼玉道路の橋。  
平成17年(2005)架設  
橋長70m 幅員10m

16 定使野橋 (ジョウツカイノバシ)



旧県道越谷野田線の橋で、現在は市道になっている。葛西用水と新方川が伏越(ふせこし)という工法で立体交差する珍しい光景が見られる。現在の橋の架け替え工事に合わせて隣接地に定使野公園が整備された。(6ページ参照)

昭和61年(1986)架設  
橋長71.80m 幅員16.80m

25 昭和橋 (ショウワバシ)



新方川の最下流に架かる県道平方東京線の橋。  
昭和59年(1984)架設  
橋長53.7m 幅員12.8m

26 三野宮橋 (サンノミヤバシ)



越谷市では元荒川の一番上流に架かる橋。この辺りは最も水がきれいな場所で、天然のアユの姿をみることもある。  
昭和47年(1972)架設  
橋長63.91m 幅員8.45m

27 大砂橋 (オオスナバシ)



現在区画整理中の大道と砂原を結ぶ橋で、都市計画道路の健康福祉村大袋線の一部になる。  
平成3年(1991)架設  
橋長100.00m 幅員11.62m

28 メ切橋 (シメキリバシ)



この名は、大きく曲流していた元荒川を、江戸時代に水害対策として改修した際、荻島村が分断されたことに由来する。(16ページ参照)  
昭和12年(1937)架設  
橋長54.00m 幅員4.23m

29 元荒川橋 (モトアラカワバシ)



国道4号線の架橋。  
昭和12年(1966)架設  
橋長89.02m 幅員15m

30 出津橋 (デツバシ)



文教大学前に架かる橋。車両は通行不可、左岸は桜並木が続き自転車や歩歩の人々が行き交う。出津は南荻島地内の字名。  
平成5年(1993)架設  
橋長63.30m 幅員4.00m

31 神明橋 (シンメイバシ)



この地が昔、神明下村であったことに由来する。浦和、岩槻方面に向かう交通の要衝。桜の名所としても有名。(20ページ参照)  
昭和45年(1970)架設  
橋長60.3m 幅員10.3m

32 大沢橋 (オオサワバシ)



もとは大橋と呼ばれ旧日光街道の越ヶ谷宿と大沢町を結ぶ橋として長い歴史を持つ。江戸時代は境板橋(境大橋)と称された。当時は旅籠屋、川魚料理屋が軒を連ね大変賑わいを見せた。(9ページ参照)  
昭和28年(1953)架設  
橋長54.8m 幅員8.6m

33 元荒川橋 (モトアラカワバシ)



県道足立越谷線は、昭和6年、国道4号線として千住から工事が始まり、戦争による中断を経て25年から工事が再開、現在の形となった。元荒川橋は、国道4号線の橋とこの橋の2つがある。  
昭和18年(1943)架設  
橋長59.0m 幅員12.8m

34 宮前橋 (ミヤエバシ)



もとは寺橋と呼ばれた木橋。昭和30年頃まで、この辺りは格好の遊泳地で、子どもたちの公式の水練場にもなっていた。新宮前橋の完成後は歩行者・自転車専用の橋となっている。(11ページ参照)  
平成15年(2003)架設  
橋長70.00m 幅員6.00m

35 新宮前橋 (シンミヤエバシ)



宮前橋の下流に架かる新しい橋。都市計画道路神明下花田線の工事に合わせて架設された。この道路は市の中央部を東西に横断し、交通渋滞が緩和されている。(21ページ参照)  
平成9年(1997)架設  
橋長63.90m 幅員16.80m

36 新平和橋 (シンヘイワバシ)

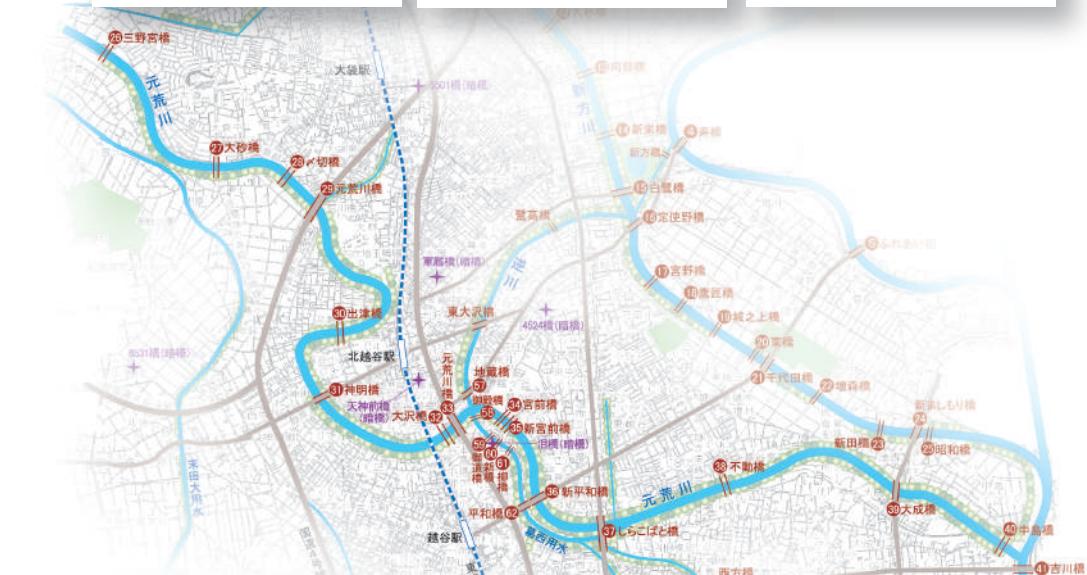


葛西用水に架かる平和橋とつながり、一つの橋のような印象を受けるが別の橋。昭和36年から始まった元荒川と葛西用水の分離工事に際し、川に対し斜めに渡すという難しい工事であった。(13ページ参照)  
昭和41年(1966)架設  
橋長69.68m 幅員14.10m

37 しらこばと橋 (シラコバトバシ)



県道越谷八潮線の元荒川と葛西用水に架かる市内唯一の斜張橋。シラコバトをモチーフにしたデザインで、代表的な景観のひとつとなっている。(19ページ参照)  
平成6年(1994)架設  
橋長145.1m 幅員14.2m



38 不動橋 (フドウバシ)



すぐ脇の大相模不動尊(大聖寺)から名をとり、寺院をイメージした親柱とケヤキがデザインされた高欄が特徴的。(20ページ参照)  
平成5年(1993)架設  
橋長134.00m 幅員16.80m

39 大成橋 (タイセイバシ)



国道4号線東埼玉道路の橋。  
平成16年(2004)架設  
橋長120m 幅員10m(上下線とも)

40 中島橋 (ナカジマバシ)



県道平方東京線の架橋。この先で元荒川は中川に合流する。橋の下流30~40mに昭和5年に架けられた木橋があった。橋ができる以前は渡し場があった。  
昭和49年(1974)架設  
橋長92.3m 幅員10.3m

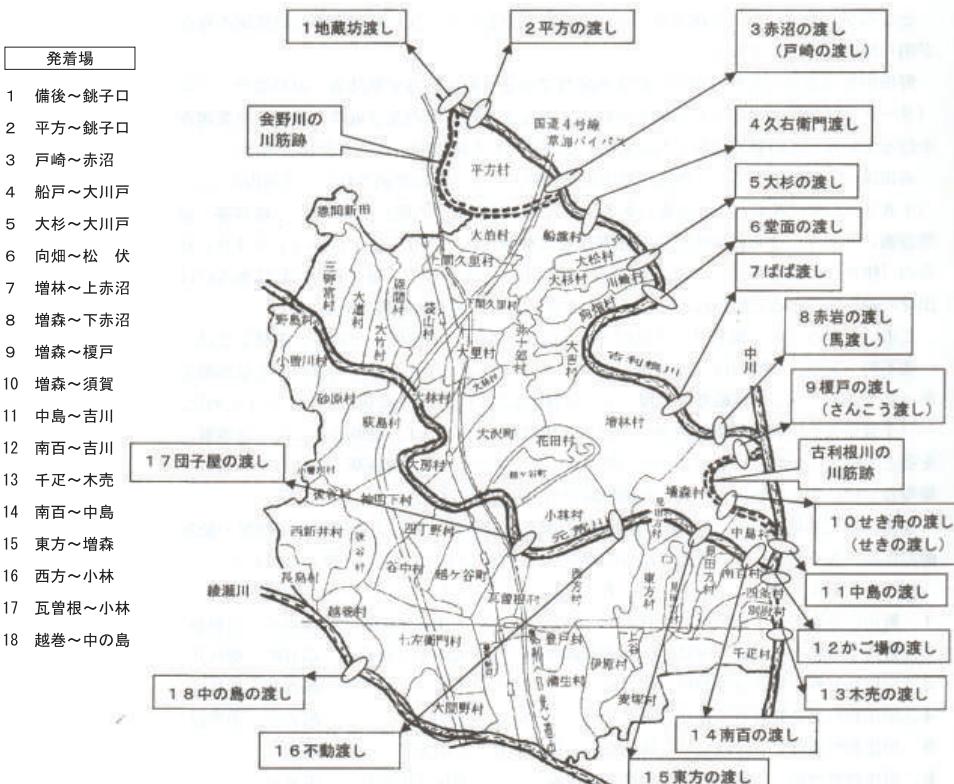
## 【コラム】越谷の渡し場

現在、川を越えるには全て道路の延長としての橋を渡りますが、昔は主要な往還道（日光街道の元荒川を渡る大沢板橋など）以外は橋が無く、ほとんどが舟を利用しました。いわゆる「渡し舟」で、その発着場を「渡し場」といいます。

私有舟でない「公用」の渡しは、村の入用費や自費などで舟を備え、「渡し守」（渡し番・川番）が管理しました。今でも渡し守を勤めたという家が残っています。渡し守は渡舟運賃を徴収しましたが、村人は運賃の代りに米麦などを毎年納めて利用したともいわれます。

江戸・明治・大正・昭和と、それぞれの渡し場は時代とともに消えたり、橋が架けられたりして、今では一部名前が残っている所があるのみです。下図は、渡し場を徴収して利用した公用の渡し場を、地図上に表したものです。

なお、2014年発行『吉川市史 通史編1』では「12 かご場の渡し」は「南百の渡し」と記載されています。



※出典:篠原陸郎(2008)「越谷市内の渡し場」第40回越谷市民文化祭 展示資料 <http://koshigayahistory.org/a-24.pdf>

41 吉川橋 (ヨシカワブashi)



県道越谷流山線の架橋。明治8年、徳江久次郎が有料の橋を架けたのが始まりで徳江橋と呼ばれていた。昭和初期に県が買収して吉川橋と改名された。橋がない頃は、渡し場があった。令和2年(2020)架設  
長さ202.0m 幅25.8m

42 吉越橋 (ヨシコシブashi)



交通渋滞の激しい吉川橋のバイパスとして下流に建設された。越谷側の県道平方東京線と吉川町の県道葛飾吉川松伏線を結ぶ。総工費は約3億3000万円(用地費含む)、親柱には越谷側に市の花キク、吉川側に町の花サツキ、ツツジがデザインされた。平成2年(1990)架設  
橋長426.8m 幅員13.3m(歩道付)

43 中川横断工区水管橋 (ナガガワオウダンコウクスイカンキョウ)



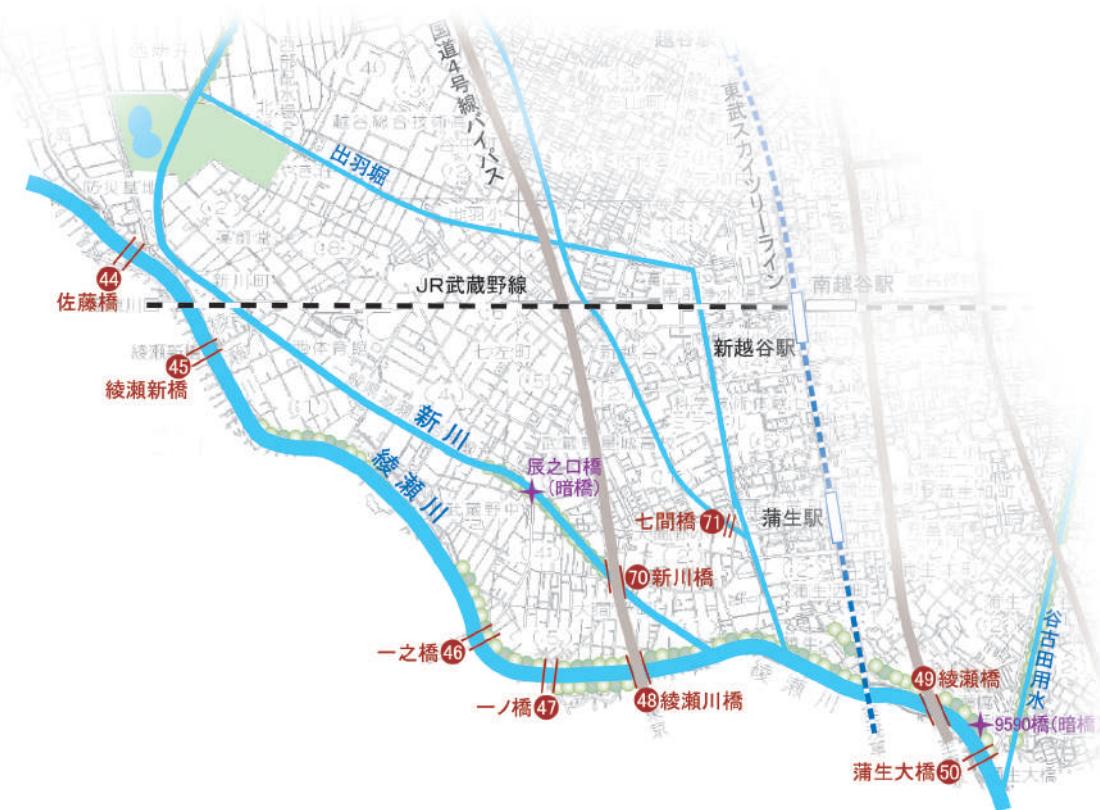
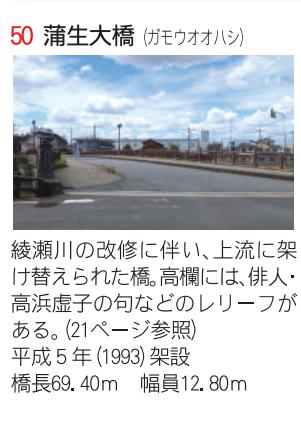
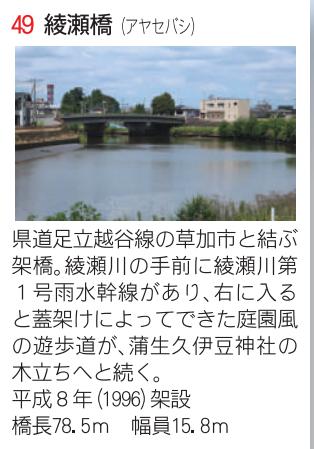
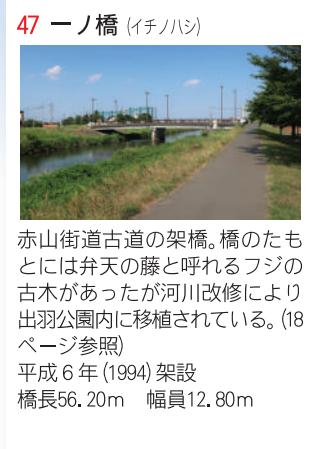
通称:新中川水管橋。越谷市と吉川市を結ぶ。青空によく映える真っ赤な水管橋で、歩行者と自転車のみ通行可。JR武蔵野線の南側に位置し、市内東町ののどかな風景が望める。平成2年(1990)架橋  
橋長258.0m 幅員1.90m



### Q1. 越谷市で一番古い橋は？

#### こしがや 橋物語 クイズ

記録に残る橋で一番古いのは「大沢橋」です。以前は大橋と呼ばれており、江戸時代初期の明暦元年(1655)に架け換え工事が行われたという記録が残されていますので、最初の橋はかなり古いものと思われます。現存する橋では、昭和19年(1937)に造られた「〆切橋」で、築後86年になります。



## Q2. 越谷市で一番長い橋は？

中川に架かる「吉越橋」は橋長426.80m。2位の「吉川橋」(202.0m)以下を大きく引き離して断然トップです。これは、この橋が高く架かっているためで、川を横断する本橋が222.30mで、さらに取付橋は西側(越谷市)126.45m、東側(吉川市)78.05mで合計で204.50mもあります。

### こしがや橋物語クイズ

## 葛西用水に架かる橋



### 【コラム】橋を下から見ると

橋は道路の延長ですから、人やモノ・車を渡すだけでなく、水道・電気・ガスなどライフラインも通します。その場合、元荒川橋のように添架管を主桁にとりつけます。また、橋台あるいは橋脚と主桁をつないだり、主桁と主桁をつなぐことで大きな地震が起きても落橋しないように耐震補強が行われます。

万一落橋が生じると、救急車や消防車などの緊急車両が通行できなくなり、緊急物資を運ぶことも、歩行者の避難もできなくなります。耐震補強も、まちとまちをつなぐことと言えるでしょう。

元荒川橋は桁下に遊歩道があり、橋を下から見ることができます。橋の上を通る時とは違う視点で、暮らしを支えている橋の大きさを実感することができます。(執筆:恒國光義)



国道4号線草加バイパスに架かる元荒川橋



元荒川橋を下から見たところ

### こしがや 橋 物 語 クイズ

Q3. 越谷市と隣接市町村をつなぐ橋の数は? (橋長15m以上のもの)

51~53ページに掲載の一覧表では、新方川の中堀橋・戸井橋、大落古利根川の利根川橋・古利根橋・堂面橋・寿橋・ふれあい橋、中川の吉川橋・吉越橋、綾瀬川の佐藤橋・新綾瀬橋・一之橋・一ノ橋、綾瀬川橋・綾瀬橋・蒲生大橋の合計16箇所が挙げられます。実は一之橋は両岸とも草加市です。今回は越谷市内と草加市をつなぐという意味で、一覧表に載せてあります。

63 流通団地橋 (リュウツウダンチバシ)



流通団地の中央から入る市道80077号線の東京葛西用水と谷古田用水に架かる橋。レンガ張りのモダンな橋は、アーチ形が水面に映り眼鏡のように見える。コンクリート製品(アーチ型ボックスカルバート)を組み合わせて造られた。(20ページ参照)  
昭和63年(1988)架設  
橋長27.39m 幅員10.79m  
橋長15.88m 幅員24.80m

64 流通橋 (リュウツウバシ)



流通団地の一一番南側から入る市道80082号線の東京葛西用水と谷古田用水に架かる橋。  
昭和44年(1969)架設  
橋長27.39m 幅員10.79m

65 川柳橋 (カワヤナギバシ)



JR武藏野線の南側を並行して走る市道80079号線の東京葛西用水と谷古田用水に架かる橋。同じ名前の橋が八条用水にもある。  
昭和44年(1969)架設  
橋長25.20m 幅員10.85m

66 登戸橋 (ノボリトバシ)



登戸町から川柳町に入る市道90081号線の東京葛西用水と谷古田用水に架かる橋。  
平成31年(2019)架設  
橋長16.40m 幅員16.80m

67 吉田橋 (ヨシダバン)



登戸橋の下流に架かる橋。この橋の先で東京葛西用水と谷古田用水が分離する。  
昭和42年(1967)架設  
橋長16.50m 幅員6.60m

68 天神橋 (テンジンバン)



県道柿ノ木町蒲生線の東京葛西用水に架かる橋。江戸時代から左岸にある「天神社」に由来。  
昭和59年(1984)架設  
橋長16.8m 幅員6.8m

69 西方橋 (ニシカタバシ)



県道越谷流山線の八条用水に架かる橋。  
架設年次不明  
橋長15.0m 幅員32.7m



## 橋の維持管理について

越谷市の橋について、今後の維持管理や将来の架け替えはどうなつていいのでしょうか。越谷市建設部道路建設課の橋梁担当者にヒアリング調査を行い、現状と課題をお聞きしました。

◆ヒアリング実施日時：令和五年八月一七日 十時～十二時

◆ヒアリング先：越谷市建設部道路建設課 同 主幹 吉住 祐一

◆実施・記録報告者：コンサルタント設計会社 部長 恒國 光義

（橋りょう設計・保全に従事、越谷市在住）  
越谷市住まい・まちづくり協議会 若色 欣爾  
（以上敬称略）

### 越谷市の現状

越谷市で管理している橋長二メートル以上の橋の数は四五八箇所あり、これに国の管理（十三箇所）と県の管理（五十六箇所）を合計すると五二七箇所になります。これだけの多くの橋があるのは、本市の地形と江戸時代からの新田開発による農

業用水の整備からくるもので、多くの河川・農業用水があるためです。

一九六〇代から始まった都市化により多くの橋がこの時期に架けられています。従つて、三〇年後にはそれらの橋が一度に老朽化していくことが危惧されます。

### 今後の対策

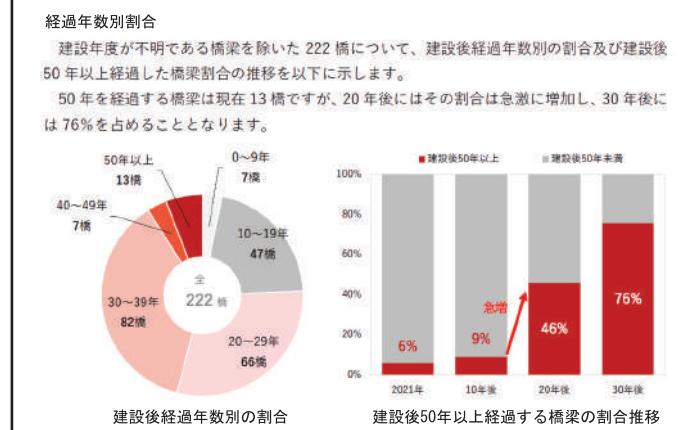
このような現象は本市だけではないので、国はこの対策として「長寿命化修繕計画」を策定した市町村には財政的な支援することとし、本市

設すべに言えることです。この問題は行政に任せただけではなく、市民一人一人がもっと関心を持ち、持続可能なまちづくりの視点に立て考へる必要があるようです。

これらは橋梁だけではなく、公共インフラや公共施設を策定する必要があります。

これが、橋梁だけではなく、公共インフラや公共施設を策定する必要があります。

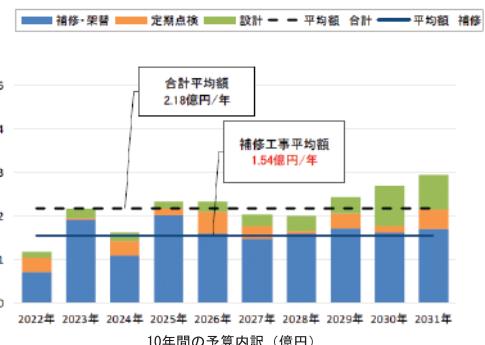
もこれに従つて計画を策定、実施をしております。また、このための予算も算出していますが、今後の高齢化により民生費の比重が高まり、土木費がひつ迫する可能性もあります。さらに人口減少社会により全体の財収が縮減される恐れもあります。



10年間の短期計画  
10年間（2022年～2031年）の短期計画を示します。これは、計画運用の実行妥当性の観点から、年間予算額との整合を踏まえて、優先順位により予算の平滑化を行ったものです。

また、計画初年度である2022年度は、2021年度時点で越谷市が計画している橋梁修繕計画に則り費用の計上を行っています。

	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年
補修・架替	0.71	1.90	1.09	2.00	1.59	1.46	1.50	1.72	1.60	1.69
設計	0.12	0.22	0.19	0.17	0.23	0.26	0.34	0.38	0.91	0.80
定期点検	0.33	0.05	0.32	0.16	0.49	0.31	0.05	0.32	0.16	0.45
合計額	1.16	2.16	1.61	2.33	2.32	2.03	1.99	2.42	2.67	2.94



### 長寿命化修繕計画

長寿命化修繕計画とは、從来の対症療法的な修繕から、計画的かつ予防保全的な修繕に転換し、安全で安心な道路サービスの提供を行うとともに、橋梁の耐用年数の延長による維持管理

コストの縮減および予算の平

準化を図るもので

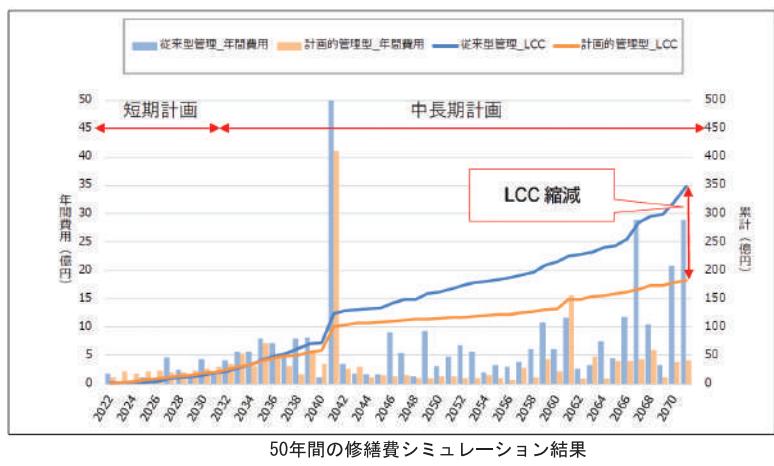
越谷市でも、近い将来大量の橋梁が高齢化していくことになり、維持、修繕・架

えに要する費用の増大が課題になります。市では、從

来は対症療法型（損傷が見られたら直す）で橋の維持管理を進めてきましたが、

架け替えを前提とした管理と、本計画において選定された維持管理シナリオによる計画的維持管理の中長期（二〇二二年まで）のライフサイクルコストを比較することによりコスト縮減効果を評価した結果、約百六十億円（約四五五%）の縮減

が可能となることが試算されています。



## 橋から考える、これからの中づくり

この項目では、橋を通してまちづくりを考えてみたいと思います。

越谷市の橋は一九八〇年代に建設されたものが多く、既に五〇年以上が経過しています。さらに、人口減少や経済の低迷による財源の縮減によって橋の維持管理・更新費が不足し、将来は老朽化した橋を廃止、あるいは撤去しなければならないことも予想されます。

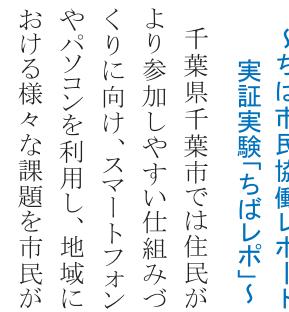
現存の橋を守ることには、今のまちを維持することに通じる行為と言えるかもしれません。しかし、生活様式の変化に伴い、まちづくりのあり方を見直さなければならぬ時期がくることもあります。

### 社会インフラの老朽化による維持管理・更新問題の認知度

社会インフラの老朽化による維持管理・更新問題の認知度が高まつてきており、これに伴つて住民も協力すべきという考えが広まっていることが推察されます。

### 社会インフラの維持管理における住民参加の先行事例

住民のニーズにきめ細かく応えるためにも、住民の参加が不可欠であり、そのための制度づくりが必要となり



ます。先行事例を二件見てみましょう。

#### ①これからは市民によって支えられる街へ

#### 実証実験「ちばレポー」

千葉県千葉市では住民がより参加しやすい仕組みづくりに向け、スマートフォンやパソコンを利用し、地域における様々な課題を市民が



資料：千葉市

より、多くの市民が広く地域課題を共有することができます。また、そのレポート（課題）に対する行政側の対応も公開されため、投稿した課題がその後どうなったのかを確認するとも可能となつております。一連のプロセスの透明化が図られています。

### みんなで支える仕組みづくり

越谷市では橋の保守点検を行っていますが、日常的に細部まで見ることはなかなかできません。そこでその橋を日々よく利用する住民が、橋の現況や修繕の必要性、

生き残っていくには社会インフラの維持管理を住民合意で円滑に進めていく必要があります。本市のようなベットタウンは新住民が多く、彼らは住みにくくなれば、躊躇せずに良いまちに移り住んでしまう可能性が高いものです。

**社会インフラの維持管理に関する住民の参加意向**

「国民意識調査」において、人口減少や財政状況の悪化等から、社会インフラの維持管理・更新が現状のままでは困難になつたとき実施すべき対策について尋ねたところ、「維持管理・更新における住

考えられるでしょう。そこで、代表的なインフラのひとつである「橋」に興味を持ち知つてもらうために必要なこと、さらには人口減少を想定したこれからの中づくりを考えたいと思います。橋もまた、新しく作る時代から、今あるものを守り、育てる時代に向けて、市民自身が「わがコト」のように考えることが必要になると思われます。

これらの少子高齢・人口減少社会において、都市が生き残っていくには社会インフラの維持管理を住民合意で円滑に進めていく必要があります。本市のようなベットタウンは新住民が多く、彼らは住みにくくなれば、躊躇せずに良いまちに移り住んでしまう可能性が高いものです。

短・中期的には「長寿命化キの剥がれや落書きなど気付いたところを報告する仕組みがあれば良いと思われます。落書きは景観的にも問題があり、このような活動を通して、普段から橋に关心を持っている市民を増えさせることは、将来の橋の架け替え等で住民合意が必要になつたときに必ず活きてくるでしょう。

これからの中づくりが、それからの中づくりになつてしまふかもしれません。そのためにも、現状の橋全てを架け替えて次世代に伝えていく必要があると感じています。

「ちばれポ」は、住民の協力によりインフラの不具合を早期発見するための取組みですが、さらに一歩すすめて日頃利用しているインフラ（道路や橋梁等）の簡単な維持点検を住民に担つてもらうという取組みも進められています。

## ②組織的な住民参加の仕組み作り

### 「岐阜県社会基盤メンテナンスサポート事業」

岐阜県では、県民参加のボランティア活動により、地域の道路を地域で見守る制度として、二〇〇九年度から社会基盤メンテナンスサポート（以下「MS」という）事業を開始しました。

MSとして活動するのは、公募により募集した住民で、

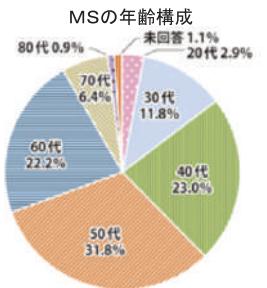
社会基盤メンテナンスサポート制度の概要



資料：岐阜県

MS委託状況  
(2014年4月1日現在、単位:人)

資料：岐阜県資料より国土交通省作成



資料：岐阜県

八十代となつており、幅広い層が道路施設等の点検に参加していることがわかります。

## まちづくりは

### 時間軸から空間軸へ

定常型社会をデザインし

ている京都大学の広井良典

教授は、人口減少社会とは、

「時間軸」が優位の時代から

「空間軸」が優位の時代への

転換と捉えることもできる

と述べています。

すなわち、人口増加の時代

は世の中が一つの方向に進ん

でいくので、この地域は「進ん

でいる」という具合に、いわば時

間軸上に様々な地域がすべ

て位置づけられていく。しか

し人口減少社会においては、

そうした時間軸 자체が背景

に退き、「空間軸」つまりそれ

ぞの地域がもつ固有の価

値や風土的・文化的多様性

の人々の関心が高まるとい

う新たな流れが生成し浸透

## 持続可能なまちづくり

当団体では、二〇二一年十月の越谷市長選挙にあわせて、立候補者に持続可能なまちづくりの提言を行つて

います。

今回のテーマである「橋から考えるまちづくり」は、この一環で行つてい

### ■Vision みんなでつくるスマートグリーンシティ(SGC)構想

22世紀を見据えた持続可能なまちづくりのために、DX(デジタルトランスフォーメーション)とGX(グリーントランスフォーメーション)の2つを柱に、新たなグリーンインフラを推進し、自然エネルギー自給都市を目指します。

グリーンインフラの整備は防災にも役に立ち、維持管理コストも軽減され、持続可能なまちづくりに寄与します。また、まちづくりの原点は土地利用の効率化にあると考え、本市全域において土地利用計画を見直すとともに、土地の所有と利用を分離して考えるような所有者の意識変革を促し、公共優先の効率的な土地利用を図ります。



していく「どうう」という考えです。また、戦後から高度成長期を経て最近までの時代とは、一貫して「地域」との関わりが薄い人々が増え続けた時代であり、それが現在は、逆に「地域」との関わりが強い人々（子どもと高齢者）の増加期に入る、その入り口の時期であるととらえることができると述べています。

地域に根付いた市民がまちづくりに関心をもつて、暮らしやすいまちづくり、魅力あふれるまちづくりを行政と協働して取り組むべき時期を迎つつあるのではないかでしょうか。

していく「どうう」という考えです。また、戦後から高度成長期を経て最近までの時代とは、一貫して「地域」との関わりが薄い人々が増え続けた時代であり、それが現在は、逆に「地域」との関わりが強い人々（子どもと高齢者）の増加期に入る、その入り口の時期であるととらえることができると述べています。

きました。その一つが、下図のような「みんなでつくるスマートグリーンシティ(SGC)構想」です。

本市の地形や立地を活かして、安全、安心で快適に住めるまち(アメリカンタウン)を目指すための具体的でわかりやすいビジョンを公民共創にて考える必要があると提言しています。

ます。まずは身近な課題からまちづくりを考えるキッカケになれば幸いです。

引用

※国土交通省白書二〇一六

MSからの点検結果情報

MSからの点検結果情報を類別みると、施設の破損や舗装の劣化が多く寄せられており、その点検結果を元に県が修繕等の対応を行っています。

(通知時)



(対応後)

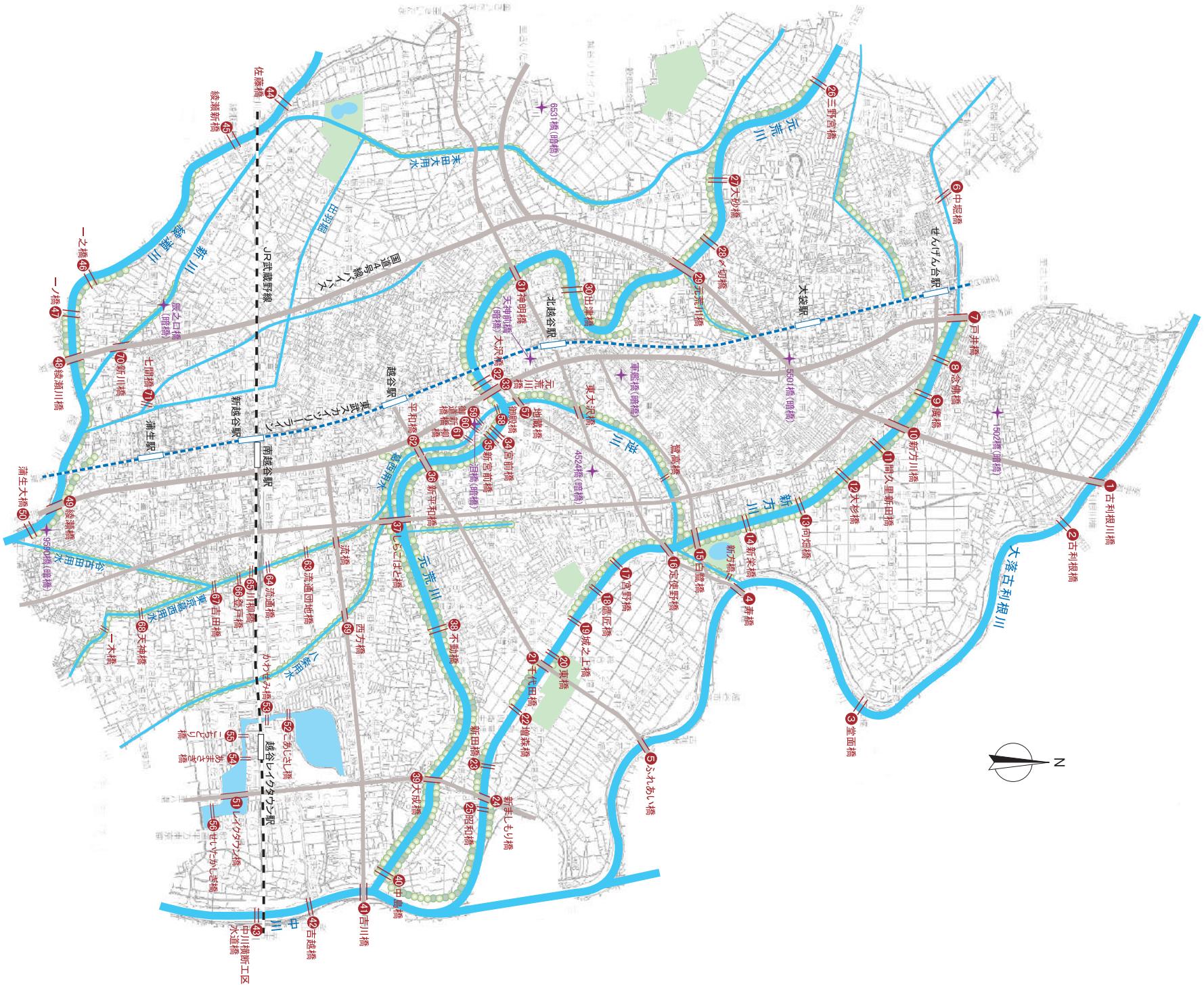


資料：岐阜県

## 越谷市に架かる主な橋の位置図

## に架かる主な橋の位置図 (名称のある橋・橋長15m以上の橋)

越谷市にかかる主な橋の立位置図  
(名称のある橋・橋長15m以上の橋)



# 卷末資料

## 越谷市に架かる橋一覧表 (橋長15m以上) [2023年7月調べ資料]

\*この一覧表では河川・用水路に架かる橋をとりあげています。この他に、陸橋や歩道橋、鉄道の鉄橋などがあります。

番号	橋梁名(リガナ)	所在地	路線名	架設年月	橋梁形式	橋長(m)	幅員(m) *	交差河川	管理者	
									上り	下り
01	吉利根川橋(アサヒガシ)	越谷市平方～春日部市大沼	国道4号線越谷春日部バイパス	1974	鋼了経間連続鋼桁橋	10.25	10.164.8 下り13.4	大落吉利根川	大落吉利根川	国交省
02	古利根橋(アサヒガシ)	越谷市平方～松伏町平沼	県道野田岩槻線	1978.03	単純鋼板桁橋	100.5	99(8.5)	大落吉利根川	埼玉県	
03	堂面橋(トウヘンガシ)	越谷市向畑961番地先	市道1060号線	1970.03	鋼単純桁橋	67.67	8.43(7.73)	大落吉利根川	埼玉県	
04	寿橋(ヒツガシ)	越谷市増林～松伏町松伏	県道越谷野田線	1970.03	合成箱桁橋	40.0	11.1(10.5)	大落吉利根川	埼玉県	
05	ふれあい橋(フライハシ)	越谷市増林4138番1地先	市道1130号線	1997.03	3径間連続鋼箱桁橋	104.70	16.80(16.00)	大落吉利根川	越谷市松伏町	
06	中堀橋(チホリガシ)	越谷市恩間新田404番1地先	市道2040号線	1980.11	鋼単純箱桁橋	28.00	12.43(9.05)	新方川	越谷市	
07	戸井橋(トイガシ)	越谷市千間台東1丁目	国道4号線	1955	RC橋桁橋	16.6	8.4	新方川	国交省	
08	念佛橋(ブダガシ)	越谷市大柏1035番1地先	市道1050号線	1990.03	鋼単純桁橋	45.10	12.80(12.00)	新方川	越谷市	
09	廣橋(ヒロガシ)	越谷市上間久里258番1地先	市道10331号線	1996.04	鋼床版鋼桁橋 (中央部鋼車輪非合成板橋端側) (側部フレーナ方式単純1桁橋)	45.30	12.80(12.00)	新方川	国交省	
10	新方川橋(ヒツガシ)	越谷市上間久里	国道4号線越谷春日部バイパス	1987	PC-T桁橋	94	20.15	新方川	国交省	
11	間入里新田橋(マカルシゲタガシ)	越谷市下間久里608番17地先	市道1060号線	1983.03	PCT-T桁橋	48.20	11.02(10.20)	新方川	越谷市	
12	大杉橋(オガシガシ)	越谷市大杉655番1地先	市道10040号線	1990.11	アーチ橋(單弦口一セグ)	48.20	15.20(14.40)	新方川	越谷市	
13	向知橋(ムカヒガシ)	越谷市向畑256番1番地先	市道1090号線	1991.03	鋼単純桁橋	45.60	12.80(12.00)	新方川	越谷市	
14	新榮橋(シンエイガシ)	越谷市大吉470番1地先	市道10019号線	1990.03	PC単下支スパンT桁(変断面)	45.60	12.80(12.00)	新方川	越谷市	
15	白鷺橋(シラサギガシ)	越谷市弥栄町1丁目～大吉	県道越谷野田線	1990.03	鋼単純桁橋	49.0	23.8(21.5)	新方川	埼玉県	
16	定使野橋(テイシワカガハ)	越谷市花田2丁目35番地先	市道1101号線	1987.03	2径間単純非合成鋼桁橋	71.80	16.80(16.00)	新方川	越谷市	
17	宮野橋(ミヤハラシ)	越谷市増林705番地先	市道40580号線	1985.03	鋼単純T桁橋(2連)	50.70	7.70(6.50)	新方川	越谷市	
18	鷹匠橋(タケイジヤ)	越谷市増林12番1地先	市道2171号線	1985.03	鋼単純合成T桁橋	51.00	14.80(14.00)	新方川	越谷市	
19	城之上橋(シロノミヤ)	越谷市増林1丁目26番地先	市道40264号線	1987.03	2径間単純PCフレーナT桁橋	51.00	10.80(10.00)	新方川	越谷市	

番号	橋梁名(リガナ)	所在地	路線名	架設年月	橋梁形式	橋長(m)	幅員(m)	交差河川	管理者
20	東橋(アシタガ)	越谷市増林590番3地先	市道1160号線	1970.03	PC単純T桁橋(2連)	49.32	7.10(6.50)	新方川	越谷市
21	千代田橋(チヨドガ)	越谷市増林650番2地先	市道1130号線	1993.03	鋼溶接桁橋	52.50	20.80(20.00)	新方川	越谷市
22	増森橋(アゼモリガ)	越谷市増林3丁目2番1地先	市道2220号線	1979.01	鋼溶接桁橋	51.88	7.70(6.50)	新方川	越谷市
23	新田橋(シンタガ)	越谷市増森2丁目44番地先	市道40454号線	1980.03	鋼単純板桁橋(2連)	56.20	5.54(4.54)	新方川	越谷市
24	新末(しも)橋(シモモリガ)	越谷市増森	国道4号線東埼玉道路	2005	コンクリート橋PSコンクリート床版橋	70	10	新方川	国交省
25	昭和橋(ショウワガ)	越谷市増森2丁目44番地先	県道平方公里	1984	単純合成板桁橋	53.7	12.8(11.0)	新方川	埼玉県
26	三野宮橋(ミヤコガ)	越谷市野島83番1地先	市道2050号線	1977.03	鋼単純桁橋	63.91	8.45(7.75)	元荒川	越谷市
27	大砂橋(オオシガ)	越谷市大竹1322番1地先	市道1091号線	2005.03	3径間連続非合成鋼桁	100.00	23.30(21.00)	元荒川	越谷市
28	〆切橋(シキリガ)	越谷市砂原1632番1地先	市道60831号線	1937	RC単純T桁(6連)	54.20	4.15	元荒川	越谷市
29	元荒川橋(モリカワガ)	越谷市南茨島内野原合	国道4号線草加バイパス	1966	一等橋鋼構造	89.02	15	元荒川	国交省
30	出津橋(デツガ)	越谷市南茨島3336地先	市道50408号線	1993	鋼H桁橋	63.30	4.00	元荒川	越谷市
31	神明橋(シンメイガ)	越谷市新明町2丁目～北越谷	県道北越谷停車場線	1970.03	単純2～トラス桁橋	60.3	10.3(9.9)	元荒川	埼玉県
32	大沢橋(オオザカガ)	越谷市東越ヶ谷本町～大沢1丁目	県道大野島越谷線	1953.02	単純RCT桁橋	54.8	8.6(7.7)	元荒川	埼玉県
33	元荒川橋(モリカワガ)	越谷市御殿町～大沢1丁目	県道足立越谷線	1943.03	単純RCT桁橋	59.0	12.8(12.0)	元荒川	埼玉県
34	宮前橋(ミヤマガ)	越谷市柳町4195番1地先	市道4018号線	2003.05	鋼床版T桁橋	70.00	6.60(5.20)	元荒川	越谷市
35	新宮前橋(シンミヤマガ)	越谷市東越ヶ谷1丁目3151番3地先	市道1142号線	1997.05	3径間連続鋼桁橋	63.90	16.80(16.00)	元荒川	越谷市
36	新平和橋(シンペイガ)	越谷市東越谷1丁目1番1地先	市道1160号線	1966.03	鋼単純合成板桁橋(3連)	69.68	14.10(13.50)	元荒川	越谷市
37	しなごばど橋(シナゴバトガ)	越谷市相模町7丁目～東越谷2丁目	県道越谷八潮線	1994.11	斜張橋	145.1	14.2(12.0)	葛西用水	埼玉県
38	不動橋(ブドウガ)	越谷市東越谷9丁目3151番3地先	市道2211号線	1994.03	3径間連続鋼桁橋(3連)	134.00	16.80(16.00)	元荒川	越谷市
39	大成橋(タチイガ)	越谷市大成町	国道4号線東埼玉道路	2004	鋼橋鋼板桁橋	120	10	元荒川	国交省
40	中島橋(ナカシマガ)	越谷市中島	県道平方東京線	1974.02	単純合成板桁橋	92.3	10.3(9.5)	元荒川	埼玉県
41	吉川橋(ヨシカワガ)	越谷市東町2丁目～吉川市平沼	県道越谷流山線	2020.01	鋼4径間連続合成箱桁橋	202.0	25.8(23.0)	中川	埼玉県
42	吉越橋(ヨシカワガ)	越谷市東町3丁目～吉川市平沼	県道903号線	1990.03	3径間連続合成箱桁橋(本橋+斜張橋合計2連)	426.8	13.3(12.5)	中川	埼玉県
43	中川橋(ナカワガ)	越谷市東町5丁目1056番1地先	市道903号線	1990.03	アーチ橋	258.00	1.90(1.50)	中川	越谷市吉川市
44	佐藤橋(サトウガ)	越谷市新川町2丁目426番1地先	市道60830号線	2003.03	4径間単純T形鋼桁橋	59.00	8.40	綾瀬川	越谷市川口市
45	綾瀬新橋(アヤゼンガ)	越谷市新川町1丁目264番地1地先	市道60842号線	1980	PC単純フレーナT空床版橋(3連)	60.20	8.90(7.50)	綾瀬川	越谷市川口市

\* 備員欄にあるカッコ内の数字は、有効幅員(車両の通行上支障のない部分の幅)です。

番号	橋梁名(カタカナ)	所在地	路線名	架設年月	橋梁形式	橋長(m)	幅員(m)	交差河川	管理者
46	一之橋(イチノシ)	越谷市大間野町4丁目～草加市長栄町	県道越谷川口線	1996.03	2径間鋼床版桁橋	72.5	12.8(12.0)	綾瀬川	埼玉県
47	一ノ橋(イチノシ)	越谷市大間野町5丁目200番地先	市道70476号線	1994.08	PC単純T桁橋	56.20	12.80(12.0)	綾瀬川	越谷市草加市
48	綾瀬川橋(アヤセガワノシ)	草加市長栄町大沼～越谷市大間野町5丁目	国道4号線草加バイパス	1966	一等橋鋼橋H形鋼	50.6	21	綾瀬川	国交省
49	綾瀬橋(アヤセノシ)	越谷市蒲生1丁目～草加市金明町	県道足立越谷線	1996.02	RCボルティージT桁橋	78.5	15.8(15.0)	綾瀬川	埼玉県
50	蒲生大橋(カモオオシ)	越谷市蒲生愛宕町877番地先	市道90795号線	1993.03	PCT桁橋	69.40	12.80(12.0)	綾瀬川	越谷市草加市
51	レイクタウン橋(リーグタウンノシ)	越谷市レイクタウン8丁目	国道4号線東埼玉道路	1989	鋼橋鋼板桁橋	132	10	大相模調節地	国交省
52	二あじさし橋(ツヅシシハシ)	越谷市レイクタウン8丁目1番地先	市道80576号線	2008.03	鋼合組床版橋	33.90	27.8(27.0)	大相模調節地	越谷市
53	かわせみ橋(カゼミハシ)	越谷市レイクタウン8丁目8番1地先	市道80605号線	2008.03	鋼単純合成床版橋	29.50	10.00(9.0)	大相模調節地	越谷市
54	あまさき橋(アマサキハシ)	越谷市レイクタウン8丁目12番1地先	市道80576号線	2011	合組床版橋	35.80	30.60(29.0)	大相模調節地	越谷市
55	こちどり橋(コトドリハシ)	越谷市レイクタウン8丁目9番1地先	市道80577号線	2011	台床版橋	36.5	23.10(21.5)	大相模調節地	越谷市
56	せいだんぎ橋(セイダングギハシ)	越谷市大沢4丁目18番1地先	市道2320号線	2011	PC3径間連続エクストラーブルーム橋	105.80	16.80(16.0)	大相模調節地	越谷市
57	地蔵橋(ジザブ)	越谷市御殿町4414番8地先	市道1101号線	2002.06	2径間単純合成鋼床版橋	15.20	9.70(8.5)	葛西用水	越谷市
58	御殿橋(ゴテンブ)	越谷市御殿町4414番8地先	市道40044号線	1962	PC単純T桁橋	15.72	4.20(3.6)	葛西用水	越谷市
59	御道橋(ミチブ)	越谷市越ヶ谷5丁目4285番地先	市道1120号線	2006.10	PC単純床版橋	16.90	16.0(15.2)	葛西用水	越谷市
60	新橋(シンハシ)	越谷市柳町4205番14地先	市道40018号線	1962.12	鋼単純非合組床版橋	16.36	6.12(5.52)	葛西用水	越谷市
61	柳橋(リバシ)	越谷市柳町4205番105地先	市道40013号線	1962	PC単純T桁橋	15.57	4.63(4.03)	葛西用水	越谷市
62	平和橋(ヒガハシ)	越谷市越ヶ谷4丁目1番6地先	市道1160号線	1967.03	鋼単純合成床版橋	25.50	14.1(13.5)	葛西用水	越谷市
63	流通団地橋(リュウチハシ)	越谷市西方2601番地先	市道80077号線	1988.03	RCアーチカルバート	15.88	24.80(24.0)	東京葛西用水	越谷市
64	流通橋(リュウチハシ)	越谷市大字西方2618番地1地先	市道80082号線	1995.03	PC単純桁橋	27.39	10.79(10.03)	東京葛西用水	越谷市
65	川柳橋(カワヤハシ)	越谷市登戸町287番地5地先	市道80079号線	1969	PC単純桁橋	25.20	10.85(10.05)	東京葛西用水	越谷市
66	登戸橋(ドトハシ)	越谷市蒲生東町1895番4地先	市道90081号線	2019.02	単純中空鋼製床版	16.40	16.80(16.0)	東京葛西用水	越谷市
67	吉田橋(ヨシタハシ)	越谷市蒲生東町1878番2地先	市道90121号線	1967	鋼H桁橋	16.50	6.60(6.0)	東京葛西用水	越谷市
68	天神橋(アメニハシ)	越谷市川柳町	県道柿木町蒲生線	1984	単純PC床版橋	16.8	6.8(6.0)	東京葛西用水	埼玉県
69	西方橋(シカガハシ)	越谷市相模町	県道越谷流山線	不明	Boxカルバート	15.0	32.7(31.9)	八条用水路	埼玉県
70	新川橋(シンカハシ)	越谷市大間野町4丁目	国道4号線草加バイパス	1966	単純鋼橋	37.2	15	新川	国交省
71	七間橋(シナハシ)	越谷市七左町1丁目1番地先	市道2262号線	不明	RCボルトクス	16.00	6.6(6.0)	出羽堀	越谷市

## 越谷リバーウォーク Guidebook II こしがや橋物語

2024年3月

### 編集：【越谷リバーウォーク ガイドブック】編集委員会

#### 編集委員

- 委員長 若色 欣爾 (NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター 代表理事)
- 委 員 関根 健太郎 (越谷市住まい・まちづくり協議会)  
瀧田 雅之 (NPO法人 越谷市郷土研究会 理事)  
秦野 秀明 (NPO法人 越谷市郷土研究会 副会長)

発行：NPO法人 越谷市住まい・まちづくりセンター

越谷リバーウォークプロジェクト 実行委員会

〒343-0806 埼玉県越谷市宮本町2-185-12 電話048-965-5358

<https://www.koshi-machi.com>

■編集・制作 まち・ものづくりラボ

■印刷・製本 有限会社オメガ印刷